

令和 8 年度 第 1 回釜石市立鶴住居公民館運営審議会 議事録

- 1 開催日時 令和 8 年 5 月 28 日（木） 午後 1 時～午後 2 時 10 分
- 2 開催場所 鶴住居公民館 多目的室
- 3 出席委員 小山士委員長、澤本和子副委員長、高橋晃一委員、高橋美友紀委員
瀬戸保子委員、山口未来委員、萬ふじ子委員
※欠席者なし
- 4 事務局 まちづくり課 佐藤貴之課長、佐々木佳苗主幹
鶴住居公民館 千葉かほる館長、三浦功喜主査
- 6 傍聴者 なし
- 7 結果
 - ・三浦主査から、本日の審議会について委員 7 名全員が出席しており、釜石市立公民館規則第 10 条第 3 項に基づき、会議が成立していることを宣言。
 - ・佐藤課長挨拶のあと、小山委員長が議長をつとめ、千葉公民館長から協議事項「令和 8 年度釜石市立鶴住居公民館運営方針及び事業計画」について説明し、審議が行われた。
 - ・審議の結果、提案事項について全て承認された。

8 内容

佐藤課長挨拶

- ・本日は忙しいところ時間をさいいただきありがとうございます。先日の大槌の林野火災の際には、東中学校を避難所として、先生方にはご協力いただきありがとうございました。今後も災害の際には、ご協力をよろしく願いいたします。
- ・また、公民館事業も様々な事業を実施しております。今年度からは新しい職員が配置となり、更に積極的に公民館事業に取り組んでいただけたと思います。
- ・まちづくり課としてもサポートしていきますのでよろしく願いいたします。

小山委員長

- ・委員長に仰せつかった小山です。よろしく願いします。今日は議題が 1 件であります。忌憚のないご意見を宜しく願いします。そして、円滑な議事進行にご協力をお願いします。
- ・それでは、協議に入ります。「令和 8 年度釜石市立鶴住居公民館運営方針及び事業計画」についてを議題とさせていただきます。事務局から説明をお願いします。

— 千葉公民館長から説明がある —

- ・ただ今、事務局から説明がありましたが、皆さんの方で何かありますか。
- ・無ければ、こちらから指名いたします。中学校の校長先生、お願いします。

高橋晃一委員

- ・昨日、「うのとおり」を見まして、6 月に眠育のイベントが掲載してあり、明治安田生命がやるようですが、入ってきた経緯を知りたいと思います。

千葉公民館長

- ・あつまれ鶴住居の杜の中で、1 つの事業として明治安田生命でやっています。

三浦主査

・明治安田生命の方で、「市にいろいろ協力したい」ということで、確か市と協定を締結しており、「各地域にも入りいろんな事業を展開していこう。市に協力していきたい」とのことで、メニューもいろいろあり、その一環で、今回「睡眠と健康」について話していただくことになりました。

高橋晃一委員

・中学校は昨年度から、小学校と一緒にあって、睡育の取り組みをやっている、睡眠教育ですが、特に夏休み明け、学校生活のリズムを回復させるということで、夏休み明け1週間くらい、子どもたちに取り組みカードみたいなものを渡し、何時に寝ましたか、何時に起きましたか、最後はお家の人からコメントをもらう。そういう取り組みをしていたら、「うのとり」にも書いてあって興味を示した、ということです。

千葉公民館長

・このメニューは結構人気があり、去年は血管の話をしていただきまして、今年は一昨年も実施しましたが、「睡眠と健康」について話していただくことになりました。

佐藤課長

・保健福祉部の方で、先ほど三浦主査が言ったように、協定を結んで協力をいただいております、明治安田生命からいろんなメニューを示されて、健康部分もですが、終活とかもあり、その地域でニーズがあるものを行っていただいております。

・血管年齢を測る機器をもってきたり、ベジチェックをやったりとか、いろんなメニューがありますので、「こういうものがやりたい」とか、三浦主査に相談していただくと、事業がスタートできたりとか、結構面白いメニューがあり、無料で行えるので、バンバン使って下さい。

高橋美友紀委員

・先ほどのお話ですが、いきなり講演会を開いてもなかなか集まらないかもしれないという事で、まずは学級懇談会で話題にしましょうと、全学級で今年度話題にしました。「どういうことに気を付けてますか」と、一度保護者さん同士で話し合う時間を作っているんですが、今年度、そこに力を入れたいと思っています。

機会があれば、学校でも開催できるのでしょうか。

佐藤課長

・公民館との連携事業であればできます。メニューをみてもらい合致するものがあれば、声をかけてもらえればと思います。

高橋美友紀委員

・子供たちに話を聞かせて、保護者さんや地域の方にも可能なら来ていただく、そのように出来たらと思います。

千葉公民館長

・今年度どこかでやってみますか。

三浦主査

・お声をかけていただければ、協力していきたいと思います。

澤本委員

- ・集まる人数が、20人、30人の催し物であればですが、同じ顔触れで続いているのではないかと思います。お料理教室なんかは、2日くらい経って申し込んでもいっぱい、断られてしまいます。お料理は人数が限られているので、前回出た人は今回休んでもらうとか、空きを作ってもらうとか、そのようなこともあってもいいのかなと思います。実は、私も以前に3回電話して3回ともダメでした。

千葉公民館長

- ・調理室のスペースが限られているので・・・。

澤本委員

- ・たまたま、その近くで何かが開催されて、みなさん、帰り際に立ち寄って行くような感じですかね。

千葉公民館長

- ・人気のある事業は、朝から電話がかかってきて、すぐに埋まってしまいます。

瀬戸委員

- ・回数を増すのは大変でしょうからね。難しいですね。

澤本委員

- ・初めての方を優先するとか考えられないものかと。そういう臨機応変のところもあればいいかなと思ったりもします。
- ・初めての方に参加してもらい、そして、公民館活動をわかってもらうのもいいと思います。

千葉公民館長

- ・そこは検討してみたいと思います。毎回、楽しみにしている方もいるので。

萬委員

- ・先着順ですよ。考えて考えて出してみようと思っただけだったとかありますもんね。

千葉公民館長

- ・女子会の方は、男の手料理教室が毎月開催されており、女子会もあればという声があり、はじめて活動した、ということを知っています。女性の方も集まり新しいメニューを覚え、話して、それが楽しいのだろうなと思います。

澤本委員

- ・かまだんごづくりに参加したことがあり、楽しかったです。1回出ればまた出たいという気持ちもわかります。

千葉公民館長

- ・回数とかメンバーのことは今後考えていきます。

萬委員

- ・場所は決まっていますよね。あそこを広くするとか出来ないですよ。

澤本委員

- ・やはり20人が限界ですよ。18人ぐらいかな。

千葉公民館長

- ・そこまで入らないと思います。昨年2月に実施した時は11人参加しました。11人集まって、講師が入るといっぱいになります。
- ・テーブルが2つあり、6人6人とか、2班に分けてやる感じで、今の話しを聞いて、計画を検討してみます。

小山委員長

- ・新たな事業ではないにしても、何か面白い事業など、「こういう事業はどうなのか」とかありますか。「こういうやり方」とか、何かありますか。

瀬戸委員

- ・震災から15年、鵜住居地区はいちばん被害が大きかった。高齢者の方も多し、防災マップとか、ただ集まって話すとか、やわらかい雰囲気ですべてで話し合い、勉強会というか、そういうのがあってもいいのではないかと、思いました。

小山委員長

- ・こういう機会（公民館運営審議会）でないと話すチャンスがないのでどうぞ意見をお願いします。

千葉公民館長

- ・今の防災の話し、今年度も防災学習を計画していますが、内容はまだ決めていないので、この中で考えていきたいと思ひますし、鵜住居地域会議とも連携してやっていきたいと思ひています。
- ・一応9月1日が防災の日でもあるので、その時期に何かやりたいと考えています。詳細は決めていないので、9月と、1・2・3月とか、その中で何か講座とかもやっていきたいと思ひています。
- ・今の瀬戸委員の話しも頭に入れて内容の方は考えていきたいと思ひます。

小山委員長

- ・健康に関する事業がますます多くなっているような感じがします。高齢になって大事なことだけれども。

千葉公民館長

- ・健康教室はいろんなところで行いたいと話しています。拠点はここにしたいのですが、やっぱり移動手段が問題になるので、ここに来れる人、車がない人、免許がない人もいるので、それぞれの地区の集会所とかを借りて「出張公民館事業」というのも考えていますし、また、保健師が主導で健康教室も、小さい地区だと5.6人集まってもらい行っています。
- ・こちらから声をかけてやってもらうのがありますが、地区の方から「来てください」と言ってもらった方が、こちらとしても有難いです。

小山委員長

- ・やはり健康づくりは、みんなの参加率が多いんですかね。

千葉公民館長

- ・興味があるのはそういうところなんだな、と思ひます。

小山委員長

- ・健康づくりの事業が多い気がします。なんとなく違う事業も。難しいと思いますが。

千葉公民館長

- ・そうですね。身体を動かすのは見ていてみんな楽しそうですし、あとは、ふれあい教室とか、ともすカフェとかでもやってもらっていますが、ニュースポーツをやって歌を歌って、身体を動かすだけではなく、それプラスなにか、計画してもらっているので、話しを聞いただけだとやっぱり楽しくないのかな、と思います。

小山委員長

- ・健康づくりの事業が多いですよ。別な事業も計画しているんだけど。高齢者が多いから、それが無難だと思いますけど。

千葉公民館長

- ・みんなから、こういった事業をやってもらいたいという意見が出れば、こちらもそれにそって計画をしたいと思っているので、健康に偏った計画を立てているつもりではないのですが、みんなの話しを聞いていると、そのような声が多いのかなと感じます。

澤本委員

- ・デイサービス事業とか、地域で開催される事業などには出来るだけ参加するようにしているんですけども、一回休むと、「どうして来なかったの」「どうして休んだの、大変だったの」とか、声を掛けられるんですけど、民謡とか昔の歌謡曲とか、歌詞など印刷してくる人も居て、大きい声で歌うと気持ちがいいし、来てよかったと感じたりします。みんなと「また来るべね」と帰る。どっかに行くという、そういう目的が健康づくりなんだけど、自分が出かけなきゃいけない、という思いが励みになっているのではないかと感じます。

- ・健康づくりだけではなく、健康づくりと一口では語れない、なんかいろんな催しが開かれていると私は感じています。来ている人達にとってはすごく楽しみになっています。家にいれば何もやらないんですけども、ここにきてニュースポーツをやり、思いがけない点数が出ると、うれしいし、すごくいい雰囲気だと感じます。歩くのも大変な人は家まで行って声を掛けたりとか。

千葉公民館長

- ・隣の事務所で、みんなの楽しい顔も見れるし昨年10月の公民館祭りでは、東中学校の生徒さんとか小学校の子供さんとか、一緒に参加して、地域の人も参加していただき、ほんとうに地域と一緒に活動した1年だと思いました。

- ・今までやってきた事業は継続したいと思うし、ただやっぱり、参加できていない新しい方も参加できるような、何か、どうにかならないかと考えながら、少しずつ工夫しながらできればいいと思っていました。

萬委員

- ・身体を動かしたり、何をするにしても、ただ、ここに来るだけで健康になっている。それが健康につながっている。来る人はまた次もという気持ちで来るのでは、と思います。

澤本委員

・家にいけば声を出して歌う事もないし。前々回、釜石小唄を歌い、釜石小唄はみんな知っていて、踊りだしたりとか、いい雰囲気だと、いつも参加して思います。

それを準備するのはすごく大変なんだろうな、と思っています。

千葉公民館長

・なので、皆さんに協力してもらいたいというところは、お願いしますので。

小山委員長

・令和8年度事業で、公民館の売りの事業は何かないですか。変わった事業とか。いつも似ているような感じがします。

千葉公民館長

・昨年度とメニューは同じようになっていますが、この前、小学校の学校運営協議会に参加させていただきましたが、やはり、地域全体でいろんな事ができたらいいかなと思います。

・5月30日に小学校の運動会がありますが、ボランティア活動をやってくれている地域住民とか、民生委員さんとか、招待状を送ったという事で、コロナ化前の体制に戻した、と伺いました。

・6月4日には小中合同の下校時の避難訓練があり「うのとり」にも掲載し、みんなで一緒に参加しましょうという事で、周知させていただきました。

・子供からお年寄りまで、みんなで、つながりがもてるような地域にしていきたいと思っています。

・半島とかもありますが、やはりここが中心・学校もあるし、来年度は栗林小学校と鶴住居小学校が一緒になるということもあるので、やはり、ここを中心に何か動いていけたらと思っています。ただ、半島の方は何もやらないという訳ではなく、半島の方には出張公民館とか動いていけたらと思います。

小山委員長

・みているとどこの地区も健康づくりが多い。それぞれ違うと思うけれども。何かこれが特徴的だ、というものが有りますか。

三浦主査

・「特徴的な事業」との事ですが、橋野地区に自分は昨年度職員で居ましたが、それぞれ鶴住居地区とは違った事業を行っています。

・事業の題とか項目は例年と変わりませんが、中身は皆さんの要望を入れて、随時変えております。例えば、あつまれ鶴住居の杜では、毎月事業があるので、その中でみなさんがやりたいものを言うていただければ、そこで組み入れるというかたちで、標題は同じですが、中身は全く違うものになるよう工夫してやっていきたいと思っています。

小山委員長

・「公民館で事業をつくって実施するから、みなさんどうぞ」という感じだと思いますが、何か公民館で希望をとるとか、要望がある場合はありますか。

千葉公民館長

- ・みなさんから要望があれば、計画に載ってなくても、こういったものをやりたいという事であれば、それはそれで単発でもやっていければと思います。

三浦主査

- ・毎月やっている事業の中で要望を入れてやっていくようにしています。

小山委員長

- ・みなさん（住民）と話しをしている中で、要望の強い事業をやっているのでしょうか。

三浦主査

- ・みなさんが喜びそうな事業をやっていくこととしています。

萬委員

- ・公民館事業に参加して、前回とは中身が違っていて、帰るときには、「今度こういうのがいいよね」と話したりしています。バラエティーに富んで中身も、例えば健康教室と言っても、中身は全然先月と違ったり、他の公民館とは違ったりしていると思います。
- ・中身がバラエティーに富んでいることが売りじゃないですか。

三浦主査

- ・ありがとうございます。

小山委員長

- ・結構やっているとありますが、要するに、人気のあるものと、人気のないものがあると思いますがどうですか。

高橋美友紀委員

- ・2頁にある健康教室というのも、先ほど瀬戸委員が震災から15年になるけれども、6頁にあるような防災学習でも、勉強会というよりも、交流できるような形が良いなと話していましたが、それで「はっ」と思い、小学校の方でも子供たちは震災を全く知らない子供達になってしまっていて、でも「語り継ぎたい」という思いが子供達にはあります。
- ・知識をどこからどう得たらいいのかということが、私たちの課題であって、どうにかして地域の方とお会いする機会を見つけて、作って、子供たちに提供したいなと思います。
- ・なかなか、そういうのは、どうやったらいいのかと。難しいなと思っています。例えば健康教室とか防災教室の時に、地域の方がお集まりになっているところに子供たちも行ってお話とか聞けたら、すごく勉強になるのかなと思います。一緒に身体を動かしながら、とか。中身によってはそういうものでなかったりするとは思いますが。

千葉公民館長

- ・健康教室の方は保健師が中心となってやっています。令和7年度の第2回目の公民館運営審議会の方でも昨年度の報告はさせていただきましたが、昨年度の健康教室では熱中症予防とか、認知症予防、フレイル予防、脳卒中、ニュースポーツ交流会とか、やっているのですが、ただ、桑ノ浜、室浜とか、それぞれの場所に合わせたもので考えているので、同じメニューということはそうそうはない感じではあるので、今校長先生が言ったように、防災となると健康教室ではなく防災教育の方になるので、そこは公民館と学校と地域会議とかで共同して考え、検討していけば、出きるのではないかと感じます。時期的なことはち

よっと、未定ですが。

高橋美友紀委員

・感染症の心配もあって、難しいところもありますが、冬場になる前であればやってみていな、という気持ちです。

三浦主査

・学校の方でなかなか時間が取れないところがあると思うので、逆にこの日程でとか言ってもらえれば、調整して実施できると思います。一緒にメニューを考えて実施できると思います。いちばん日程を決めるのが難しいかなと思います。

高橋美友紀委員

・今年は夏休みが長いので、ちょうど9月の1週目あたりが始まってすぐなので、その辺が調整可能かなと思います。

佐藤課長

・平田でやっている「つながるカフェ」。小学校、中学校、行政、あいぜんの里さんが一緒になってやっている事業があります。長く継続してやっていて、その中で語り部の話しとか、防災のことをやったり、歌を歌ったりとか。昨年、日本で3自治体だけ老健局長賞を東京で受けてきました。事業として採択されて、地域や世代を超えた取り組みの中で、出来ることがあるのかなと思います。

・ただ、そのとおり、学校の時間が一番ネックとなると思います。夏休みとか冬休みとか、どっかで1回やってみるといいうのもあるかもです。

・子ども食堂とかはいろいろなところでやっているのでも、食堂だけではなく、その中でそういうのも勉強するとか、地域の人に当時の話しを聞いたりということは、一緒にできるのではないかと思います。ただ、やはり、学校の時間がとれるかだと思います。

三浦主査

・心肺蘇生法もやるし、高学年なら覚えていた方がいいと思います。

高橋美友紀委員

・防災の中でですか。

三浦主査

・心肺蘇生法は「あつまれ鶴住居の杜」でやることとしています。AEDの使い方と心臓マッサージをやります。ぜひみなさんも参加してほしいです。

千葉公民館長

・先ほど子ども食堂の話しが出ましたが、一昨年の子ども食堂の中では、食事とか準備している間、子供たちに和室の方に居てもらって、てんでんこレンジャーのDVDを見たり、津波とかの話しを民生委員さんからしてもらったりして、昨年度は警報が出てそういったことはできなかったのですが、今年度も7月にやる子ども食堂でも、民生委員さんの方で内容を考えている最中だと聞いています

山口委員

・子ども食堂は児童館の子供しか行けないのでしょうか。地域の子供達も参加していいのですか。

千葉公民館長

- ・地域の子供達を対象にしています。学童の子だと先生がついて連れてくる。地域の子供達だと親御さんとかが連れてきます。全然、連れて来てもらって構わないので、大丈夫です。

小山委員長

- ・時間もだんだんなくなってきましたが、あらためてみなさんの方で何かあれば。みなさん地域の代表ですので。こういうのをやってはどうですかとか、何かありませんか。

佐藤課長

- ・あとは随時、センターの方に言ってもらえればと思います。

三浦主査

- ・言ってもらおうと嬉しいので、宜しくお願いします。

瀬戸委員

- ・6月1日に釜石の小学校、中学校の事務職の方々への津波についての話しは、鶉住居小学校も入りますか。

高橋美友紀委員

- ・入ります。

三浦主査

- ・瀬戸さんの旦那さんが（津波の話し）活躍しています。

瀬戸委員

- ・事務職の方だけなので残念ですが、資料を持って平田小学校の方に行ってきました。

小山委員長

- ・その他何かありますか。何もなければ、この辺で、「令和8年度釜石市立鶉住居公民館運営方針及び事業計画」について、終了することとしてよろしいでしょうか。この辺で皆さんから了承を得たいと思いますが、よろしいでしょうか。
- ・みなさんから議題の件について、承認することとしてよろしいでしょうか。

—拍手をもって承認された—

小山委員長

- ・「その他」何かありますか。
—まちづくり課から、「立正大学デリバリーカレッジ」と「外国ひろば・中国編」について案内がある—

小山委員長

- ・ありがとうございました。他になければこれもちまして、協議を終了いたします。
それでは、事務局にお返しいたします。

三浦主査

- ・それでは、以上を持ちまして「令和8年度第1回釜石市立鶉住居公民館運営審議会」を終了いたします。

次回の運営審議会は、来年2月頃に開催の見込みです。

本日は、ご多忙のところご出席いただき、ありがとうございました。